

ライフサポート：はた

「学習会やイベント等」のご報告
(皆さんの、ご参加をお待ちしています！)

N073 : 2024. 7. 31

四万十市中村大橋通 7 丁目 1-24

連合高知西地協 [TEL:34-9191](tel:34-9191)

発行責任者：事務局 伊達幸雄

色々な組織やクラブに参加している方も多いと思いますが、何か面白い話やイベントなどがあればお知らせ下さい。皆さんからの投稿をお待ちしています。

<4月3日(水) 10:00~11:00>

講演:「能登半島地震の現場調査に参加して」

講師: こくみん共済 coop 中村支所 有田 愛 さん



○はじめに

今年の1月1日16時10分頃、能登地方を震源とした地震が発生した。

最大深度7、マグニチュードは7.6で津波も発生して、年始早々の日本を衝撃が走った。

こくみん共済 coop では、被災組合員への迅速な共済金支払いを行うため、1月10日より災害対応動員を開始した。

○現地入り

毎水曜日を基準に「1クール」とし、1週間毎に交代して現地調査を進めた。

前日宿毛市を出発し、高知竜馬空港から羽田経由小松と空路で入った。当日強風のため欠航便が出て、移動時間が14時間と厳しいものとなった。

○具体的な調査活動

初日は現地調査での注意事項や、研修を受けた。①具体的手法の確認②地域独特の注意事項③翌日からの訪問アポ取り④持参ツールの準備(さし・長靴・お見舞いタオル等)⑤どんな光景でも決して折れない心の準備。

調査での移動手段はタクシーを使うのが効率的①「班長」と「庶務」の2名体制で行動②車内から「まもなく着く」旨の連絡を入れる③タクシー会社もほとんど協力団体で、乗務員も被害者です。

被災箇所の確認は家の人に立ち会いして頂き、細かく聞き取りをする。

被害箇所確認は大変で、耐震対策がされていない住宅が多く、多くの2階建ての家屋の1階部分が潰れていたり、ブロック塀も相当数被害が出ている。私たちの拠点の和倉温泉街でも大きな被害が出ていた。液状化現象で地面が歪んでいたり、建物が傾いていたりしていた。

○拠点に帰着

調査活動を終え拠点に帰ったら、書類をまとめる作業が待っている。①写真を印刷②被害箇所を图示③損害額の積み上げ④詳細金額の算定⑤翌日の訪問ルート確定⑥訪問先のアポ取り等々をする。

○おわりに

・担当した七尾市は想像以上に被害が大きかった。至る所で屋根のブルーシートが見え、閑散とした和倉温泉街は衝撃的でした。

・私達も、まずは「自助」を基本に南海トラフ地震に備えることが命を守ることだと思いました。

<5月8日(水) 10:00~11:00>

講演:「県労福協の現状と食支援ネットについて」

講師:県労福協 川口 玲子 さん 武市 亜由美 さん



○食支援ネットの会員・支援団体等の状況

- ・正会員 20名 賛助会員 81名
- ・フードサポートメンバー(支援団体)…新たに15団体が登録し、61団体になっている。
- ・ボランティア…46名 その他県社協が実施の「ナツボラ」(中高生の夏休みボランティア体験)で参加した方…9名

○活動の状況

●食材を集める活動

- ①企業・団体からの寄付等…2021年度 5.2t 2022年度 18.7t 2023年度 20.6t
 - ・定期的に食材提供…「こうち生協」「土佐山田ショッピングセンターバリュー」
 - ・月1回提供…「三栄ブローラー」 こども食堂に提供
- ②フードドライブ
 - ・フードドライブボックス設置…「高知勤労センター」「宿毛市役所」「嶺北観光自動車」 常設「香美市役所」 4回/年
 - ・フジテイリング…「フジグラン高知」「フジ桜井店」「フジ葛島店」「フジグラン四万十店」
 - ・ファミリーマート…2022年から始まった店舗内に設置しているフードドライブが2023年度新たに18店舗増えて、現在25店舗となっている。

●食材の提供

- ①フードサポートメンバーの食材提供…毎月1回、高知市弘化台の一時保管倉庫にて提供
- ②「かみっこ」フードパントリー…2回/月、野菜・米・常温食材・日用品、983名
「かみっこ」サマーイベント…通常の食材に加え、絵本・かき氷・冷凍冷蔵詰めの提供103名
- ③年末緊急支援…年越しに不安の方にフードサポートメンバーが食材提供12団体・62世帯

●連帯の強化

- ①2023年度交流イベント…フードサポートメンバー、協力企業・団体、行政・社協 55名が参加し、「高知でどう食支援の輪を広げるか」をテーマに、いろんな業種の方との意見交換
- ②さが・こども未来応援プロジェクト実行委視察…佐賀県内の先進地視察

こうち食支援ネットに寄付をしました



ホームページに学習会をしたことと、寄付のお礼が掲載されています。

見てみてください。

*「こうち食支援ネット」で検索を！



© 2024年6月26日
幡多LCSさんに行ってきました！

幡多LCS(ライフサポートセンター)学習会に講師としてお声がけしていただき、四万十市に行

<6月5日(水) 10:00~11:00>

講演:「重要港湾指定で県内の3港はどうなる」

講師: 平和運動センター 顧問 山崎 秀一 さん



○これまでの経緯

国は全国9道府県の13空港、19港湾、合計32カ所を「特定重要拠点空港・港湾整備」に指定すると発表。この中に高知県の高知港・須崎港・宿毛湾港が入っている。

これに対し、平和センター・護憲連合・平和憲法ネットワーク高知は1月18日に土木部長、2月1日には副知事に申し入れをした。

申し入れ内容 ①防衛省は有事の利用もありうる
②整備によっては攻撃対象になる。
③米国に求められれば米軍の利用も懸念等とともに県民への情報公開を求めた。

県の回答 ①防衛省に詳細な情報を求めている。3月までに判断する。
②平時の訓練受け入れで港湾整備予算があるので、双方にメリットがある。
③有事の利用は考えていない等々。

県は3月22日に国に受諾回答をした。今回受諾したのは北海道・香川・高知・福岡・長崎・宮崎・沖縄(市町村管理のみ、県管理は見送り)、一方、福井・熊本・鹿児島は受諾せず。

○つまり狙いは何か? (講師の推測)

5港湾が選ばれた北海道は自衛隊部隊や弾薬を多数置いているため、4港湾が指定された四国は物資補給を見込んでいる。

16空港・港湾の24年度の整備費は370億円を計上。空港は滑走路の延伸や駐機場整備。港湾は輸送艦や護衛艦の接岸のため、岸壁整備や海底掘削を計画していると報道されている。

さらに、「自衛隊用＝軍事目的施設の整備」に発展し、自衛隊優先→米軍と共同利用につながる。

四国は物資補給が見込まれているが、「弾薬庫の全国分散化」を目指す自民党の戦略により、四国も弾薬庫が置かれより危険な状況になる。



○軍備増強が進めば日本はどうなる?

台湾有事が言われている。台湾が中国に攻撃をされたら、米国が対応をする。日本には沖縄を中心に米軍基地がある。中国は米軍の力をそぐのに沖縄の基地や港湾を攻撃することが想定される。そこで、日本は台湾に近い沖縄に自衛隊を駐留させ、ミサイルを整備しているのだ。戦火が拡大すれば、高知の3港も攻撃目標になることが考えられる。



台湾有事の戦場は米国でも中国でもなく、台湾と日本。日本が米軍の出撃基地になれば、基地ばかりでなく民間空港や民間港湾が攻撃され、壊滅的打撃を受ける

各行事報告

連合高知西地協 第13回メーデー

労働者の祭典、連合高知西地協第13回メーデーが4月20日(土)に四万十川緑地で行われ、連合傘下の組合員・そのOB・一般の市民約350名が参加して盛大に行われました。

今年もコロナ禍以前の体制で行われ、集会に続き、大抽選会・餅投げ・バーベキューなどで、昨年以上の参加があり、労働者の祭典にふさわしい集会となりました。



第19回 幡多ライフサポートセンター チャリティーゴルフコンペ

5月15日(水)、幡多ライフサポートセンター・四国労金・こくみん共済 coop の3者の主催で、第19回幡多ライフサポートセンターチャリティーゴルフコンペが四万十 C.C で行われ、参加者118名の盛大な大会となりました。

四国労金・こくみん共済 coop・連合高知西地協・幡多地区労福協・中村クリニックより多大な寄付を頂きました。参加者全員に賞品があり、大変喜ばれている大会となっています。

尚、今回のチャリティーの募金は黒潮町社協に送りました。

